



皆さんの日常生活から出るゴミやビン、空きかんなどは、市の清掃車が定期的にゴミステーションを巡回して処理しています。しかし、ごく少数の家庭では、いまだ

にゴミステーションにゴミを出さず、側溝や河川、農業用水などに捨てて、多くの人々に迷惑をかけています。ごく少数の人がなげなく捨てるゴミは、雨の降るたびに水路にたまり水があふれ、床下浸水になる家庭も出ています。なげなく捨てるゴミが、生活上の不安や損害まで与えているのです。

「私一人ぐらいゴミを捨てても」という考えでは、生活環境はいっとなつてもきれいになりません。ゴミを捨てる人を見たら注意し合ひ、みんなで住みよい環境をつくりましょう。

## ゴミの

### 早朝収集

清潔な観光地づくりのための「ゴミの早朝収集」を、ことしも五月一日から十月三十一日まで行います。

早朝収集を実施する区域は、従来どおり国鉄駅から西参道までの国道沿線と、国鉄・東武両駅前、山内地区の一部です。収集時間は午前七時三十分からで、収集日は同じです。

## 好評だった苗木の無料配布

緑化月間中の四月十三日、市役所前で「街に緑を増やし、緑に包まれた住みよい郷土、グリーン日

所前で「街に緑を増やし、緑に包まれた住みよい郷土、グリーン日

光」を呼びかけた、苗木の無料配布が行われました。あいにくの雨でしたが、用意した苗木五百人分は、希望者が多く、大変好評でした。



## 交通災害共済の見舞金が増額

交通事故の救済制度である「栃木県交通災害共済」の給付金が、四月一日から改正され、増額になりました。

- ①死亡の場合 七十五万円
- ②自賠法の等級で第一級各号に掲げる障害の場合 五十万円
- ③治療日数が百八十日以上で九十日以上入院の場合 十五万円
- ④治療日数が九十日以上で四十五日以上入院の場合 八万円
- ⑤治療日数が二

十八日以上で十四日以上入院の場合 三万五千円

⑥治療日数が七日以上の場合 一万五千円  
災害を受けて、給付申請をしていない方は、事故発生の翌日から一年経過すると無効になるので、忘れずに手続きをしてください。交通災害共済に、まだ加入していない方は、いまからでも加入できますから、お申し込みください。



松原発電所跡



窪田空穂の歌碑

書提出(明治44年2月) 第二十八回帝国議会に「恭シク惟ルニ当日光山ハ……」にはじまる請願書を、日光町長西山真平が提出し、採択されたが、翌年以降も、国庫補助による事業の推進を唱えて請願書を提出した。日光が国立公園に指定されたのは、昭和6年4月1日の国立公園法が公布されてから三年後の昭和9年12月4日である。

⑮ 社寺第二期修繕事業始まる(明治45年3月) 明治32年の第一期修繕事業に引き続き、工費三十二万円(国庫補助十五万円、社負担十七万円)で、大正8年12月まで行われた。

⑯ 日光軌道電車、事故を起こす(明治45年6月29日) 日光軌道電車は、下河原(現在の安川町下河原)付近で、速力の出し過ぎと、ブレーキの操作ミスから大谷川に転落し、重軽傷者4名を出した。

⑰ 歌人窪田空穂登見(明治45年) 歌人窪田空穂は、本郷女子美術学校の講師であった時、生徒らとともに日光に遊び、その時の歌を歌集「鳥声集」に載せた。その一首に「男体の山むらさきに秋空にうねりのぼりて空のさやけさ」がある。

空穂の「五月なほふかきみ雪の男体の山に」とけては湖となる」の歌碑が、昭和31年11月6日、二荒山神社境内に建立された。

× × × × ×  
今月号で「明治からのあゆみ」の「明治時代」は終ります。続いて、来月号から「大正時代」に入ります。めずらしい写真や資料をお持ちの方がいましたら、市史編さん室または総務課文書広報係までご連絡ください。